

アジア太平洋子ども会議・イン福岡25周年記念映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」

富合公民館 教養講演会 兼 人権教育・啓発上映会

空飛ぶ金魚と世界のひみつ

優希 美青 佐津川 愛美 山野 はるみ

・原田 佳奈・佐藤 仁美・ダンカン

主題歌：ESCOLTA「ひとつの空」

監督：林 弘樹 脚本：栗山 宗大

見つけに行こう！

デアエテウレシイ、それは秘密のおまじない。

「ある日突然、世界中から『いろいろな色』が消えはじめたのです。

そこはさびさび寂しい、錆色の世界...」。

「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」という絵本を巡る、3つの時代の物語。

中国人の母・リンリンに心を閉ざす中学生のみどり。

友達になることが出来ない、小学生将太と韓国人のドンジュ。

夢だった航空会社の仕事に自信を失いかけている天音。

時を越えて出会う彼らの「思いやりの心」が今、世界の危機を救う！?



映画に登場する
「思いやりの心」で
世界を繋ぐ絵本



製作：APCC/FireWorks 制作：FireWorks 制作協力：NAKED

配給宣伝：NAKED 配給宣伝協力：PONYCANYON/Horipro

文部科学省選定

©2013 APCC/FireWorks

共催：熊本市人権啓発市民協議会



映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」誕生物語



未来をつくる全てのこども達へ伝えたい 世界の架け橋となる“思いやりの心”
全国各地で今なおロングラン上映されている映画「ふるさとがえり」を手がけた、ものがたり法人 FireWorks。
長年、アジア太平洋の子どもたちの心をつなぐ事業を展開してきた NPO アジア太平洋こども会議・イン福岡。
その出会いから、映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」という1本の映画が誕生しました。
国、言葉、文化など、世界にある様々な“ちがひ(違い)”。考え方や容姿、家庭環境など、
身近な暮らしや人間関係の中にある“ちがひ(違い)”。時としてそれは、私たちから“思いやりの心”を奪ってしまうのです。
そんな“ちがひ”に葛藤しながらも、乗り越えていく感動を伝えてくれるストーリー。

「出会えて嬉しい」「みんな違ってそれがいい」などの、力強いメッセージ。

映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」には、そんなたくさんの“思いやりの心”が込められています。

映画館興業修了を惜しむ数多くの声に応えるために、2014年7月、地域上映会がスタートしました。



【日 時】 令和8年2月1日(日)

午前10時～11時半

【場 所】 富合ホール

【定 員】 100人

【申込方法】 1月6日より先着受付

窓口または右の二次元コードから→

【費 用】 無料

【プログラム】

10:00 「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」 上映

11:30 終了予定

お問い合わせ 富合公民館 096-357-4580 まで

